

浜岡原子力発電所 2 号機 排気口ダストモニタの警報点灯について

2019 年 3 月 7 日

発生号機	2 号機(廃止措置中)
発生年月日	2019 年 3 月 7 日
状況	<p>2019 年 3 月 7 日 14 時 38 分、2 号機の中央制御室に「排気口ダストモニタ(注 1)放射能高」の警報が点灯しました。2 号機排気口ダストモニタの指示値を確認したところ、約 8cps(注 2)であることを確認しました。(通常値:約 1.5cps、警報設定値:7.5cps)また、指示値は同日 9 時 30 分頃から上昇していることを確認しました。</p> <p>このため、2 号機に係る作業をすべて中断しました。その後、排気口ダストモニタの指示値は通常値に復帰し、当該警報は消灯しました。</p> <p>なお、発電所敷地内に設置しているモニタリングポストの指示は通常の変動範囲内の値を指示していることを確認しました。</p> <p>また、2 号機排気口ダストモニタのフィルタに付着した放射性物質の核種分析を実施した結果、人工放射性核種は検出されませんでした。</p> <p>今後、原因を調査し、適切に対応してまいります。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	運転情報「表 1-5 気体状又は液体状の放射性廃棄物の計画外の排出があったとき(排出量が原子炉等規制法に基づく報告基準に至らない場合)、あるいは排気筒モニタ、放水口モニタまたはモニタリングポストの警報が点灯したとき、または排気筒等のガスサンプリングで放射性物質を検出したとき」に該当します。

注 1 ダストモニタは、建屋内の放射性粒子濃度を測定している装置です。

注 2 放射性物質の濃度は、カウント毎秒(count per second の略)という単位で表示しています。これは、1 秒間に測定された放射線の数を示しています。

以 上